



YA・BOOKS

№.23 (2013.3)

～ 最近入った本の中から ～

◆ 大地のランナー(鈴木出版の海外児童文学)

人種差別の現実

ジェイムズ・リオードン作 原田勝訳 鈴木出版 2012.7 テコ933-リオ 1110476439

南アフリカのタウンシップに住むサムは速く走ることができる。身分証携帯についての抗議行動を家族で見に行ったときに起こった戦闘で両親と妹を失った。二人の兄は武力で復讐することにしたが、サムは走ることで立ち向かう。南アフリカ共和国で1994年まで行われていた人種差別の現実が描かれている。

◆ 空中トライアングル

私が求めていたものは

草野たき著 講談社 2012.8 テコJ913-クサ 1110499504

中学3年の律子は1つ年上で幼なじみの琢己とつきあっている。琢己は成績優秀、運動神経抜群、イケメンで、みんなもうらやましがっている。ある日、以前3人で一緒に遊んでいた圭と6年ぶりに再会した律子は、琢己とのつきあいに疑問を感じ始める…。律子たちの言葉にグッとくるものがある。

◆ 空を泳ぐ夢をみた(NHK ネットコミュニケーション小説)

ネットとのつきあい方

梨屋アリエ作 ほるぷ出版 2012.8 テコJ547-ナシ 1110499596

女子高生4人が、それぞれの夢に近づくために、ネット上に1つの作品を作ることになる中でネット利用での失敗や不安にぶち当たる。ネットやケータイのある生活が当たり前になっている中で、安全で楽しいネットとのつきあい方を、小説から学ぼうというシリーズ開始。

◆ 女子高生記者ヒルディのスクープ(新潮文庫)

その記事は真実か?

ジョアン・パウアー著 森洋子訳 新潮社 2012.8 テコ933.7-ハウ 1110512446

16歳のヒルディは、高校新聞『コア』の記者。町のルドロウ屋敷の気味悪い貼り紙をきっかけに町は恐怖におびえ出す。地元紙『ビー』の記事に疑問を持ったヒルディたちは真相究明に乗り出すが、圧力をかけられる…。新聞記事とは何か、何をどう書くか。ジャーナリズムの本質も説いている。

◆ つむじダフル

家族のヒ・ミツ

小路幸也著 宮下奈都著 ポプラ社 2012.9 テコ913.6-シヨ 1110532476

10歳のまどかと17歳の由一はとても仲のよい兄妹で、両親、おじいちゃんと一緒に、みんな秘密もなく、穏やかに暮らしていた。しかし、お母さん宛の1本の電話をまどかが取った日から、お母さんの様子がおかしい…。友達も含め、すべてがとても思いやりのあるやさしい人たちで、心が和やかになる物語。

◆ シフト

友はどこに?

ジェニファー・ブラッドベリ著 小梨直訳 福音館書店 2012.4 テコJ933-フラ 1110516294

高校卒業後の夏休みに、クリスは10年来の親友ウィンと自転車でアメリカ大陸横断の旅に出るが、目的地到着直前に置き去りにされる。ウィンは先に帰っているものと思ったが、両親も連絡が取れず、クリスに疑いがかけられる。そこに謎の絵はがきが届き、クリスはウィン捜しの旅に。ウィンは見つかるのか、それとも…。

◆ 最後のマドレーヌ

自分の夢と母への思い

洲崎濤著 宝島社 2012.10 テコ916-スサ 1110514100
普通的女子高生洲崎濤は「チャレンジカップ 2012」でグランプリを獲得した。心が折れていた中学生時代からパティシエになるという夢をもつようになったきっかけ、くじけそうになったこと、周囲の支え……。彼女の成長は励みにもなり、また今後の活躍も見てみたいと思う。

◆ カミサマ

自然と語って

篠原勝之著 講談社 2012.10 テコJ913-シノ 1110540333
津波によって両親が行方不明になった拓海は、ひいおばあちゃんの妹にひきとられた。ヤマンバみたいな風貌、大きな声、山を身軽に移動するオバア。夢で見たことがある白いひらひらがあちこちに……。トマトを育てるように言われた拓海は、オバアから土や空のことを教わり、そして……。じんわり染み入る物語。

◆ 木の葉のホームワーク

家族を思う心

ケイト・メスナー著 中井はるの訳 講談社 2012.10 テコJ933-メス 1110526773
クロスカントリーの大会に出場するためには「木の葉のホームワーク」を期限までに提出しなければならないジーナ。代わりに大会への出場を狙うビアンカのいたずらや最近様子がおかしいおばあちゃんのことで思い通りに進まない。でも、ジーナは大会よりもおばあちゃんを選択する。2010年E・B・ホワイト推薦図書賞受賞

◆ あの雲を追いかけて

自由とその代償

アレックス・シアラー著 金原瑞人訳 竹書房 2012.11 テコ933.7-シア 1110533858
クリスチャンのクラスに顔に傷あとのあるクラウド・ハンター、ジェニーンが転校してきた。偏見は持っていないと思っていたが、ジェニーンと仲良くなるにつれ、自分も偏見を持っていたことに気づかされるクリスチャン。そして、自由と考え、あこがれていたクラウド・ハンターは疎外されるという代償を払っていることにも……。

◆ やらなきゃゼロ!(岩波ジュニア新書)

全国最年少市長!

鈴木直道著 岩波書店 2012.12 テコJ318-スス 1110575230
2011年4月に財政破綻した夕張市に全国最年少市長が誕生した。元東京都職員で2年間夕張市に出向した経験があるとはいえ、驚く出来事だった。この若き市長が厳しい財政事情のなか、「全国最低の行政サービス、全国最高の住民負担」と言われる夕張を元気にするための挑戦の記録。

進路・仕事に関する図書☆☆☆☆

将来、どんな仕事をしたいか、そのためにはどうしたらいいのか。最近の本の中からそのヒントになりそうなものを紹介します。『**学歴入門**』(橋本俊詔著 河出書房新社 2013.1 テコJ371-タチ 1110585550) 望む、望まないに関わらず、日本の社会では必ずついて回る学歴。それはどのように始まったのか、どういうものか、どういう基準で選んだらよいか……。これを知ったら必要以上に意識する必要はなくなるのでは。

『**会社のしごと1~3**』(松井大助著 ペリかん社 2011.11~2012.12 テコ366-マツ 1110285437,1110425251,1110558768) 会社の中にあるいろいろな職種を「売るしごと」「つくるしごと」「考えるしごと」に分け、それぞれの職種に就いている人に取材して仕事の内容を紹介している。バクゼンとした「会社員」から、自分のしたいことを見つける参考になるシリーズ。

『**宇宙飛行士になる勉強法**』(山崎直子著 中央公論新社 2012.8 テコ538.9-ヤマ 1110490429) 宇宙飛行士の著者が幼少時代の家庭教育から、高校・大学受験、宇宙飛行士選抜試験、英語・ロシア語の習得法まで、そのとき何を感じ、どう向かい合ったのかを94のエッセンスにしている。「夢を諦めない心」という点で、どんな人にも通じるものがある。

『**理系女子(リケジョ)的生き方のススメ**』(岩波ジュニア新書)(美馬のゆり著 岩波書店 2012.12 テコJ407-ミマ 1110575240) 現在注目的である理系女子(リケジョ)の一人である著者が、自身の研究生活などを織り交ぜながら、性別に関係なく、自分のやりたいことを見つけて、周囲を巻き込みながら、楽しく生きる生き方を書いている。男子にもオススメ。

『**ソーシャルワーカーという仕事**』(ちくまプリマー新書)(宮本節子著 筑摩書房 2013.2 テコ369.17-ミヤ 1110593284) 社会の中の居場所を見失った人を支え育て、暮らしてゆく環境を整えるソーシャルワーカーの仕事の魅力を伝える。

それぞれの職業を紹介した本はいろいろ出ています。気になる職業があったら蔵書検索で調べてみてください。